

新・こどもと健康

No.109

2026.2.2



3月1日から7日は子ども予防接種週間です

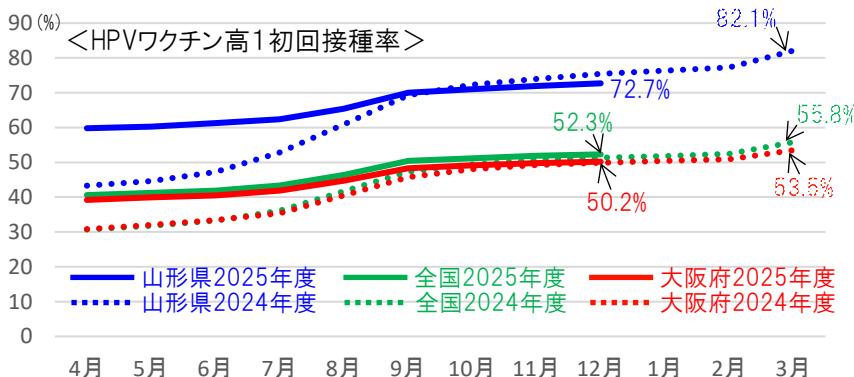
今年も3月1日(日)から7日(土)が子ども予防接種週間とされています。『この時期は、4月からの入園・入学に備え、保護者の予防接種への関心を高めるとともに、接種漏れを見直すのに最適な時期と考えられます。(中略)通常の診療時間に予防接種が受けにくい方々に対して、土曜日、日曜日、平日の夜間などの地域の実情に配慮した予防接種を行うとともに、種々の予防接種の相談に応じ、接種機会の拡大及び予防接種率の向上を図ります。』とあります。当科では3月7日(土)12時から予防接種枠を設定します。

出典: 厚生労働省HP 『令和7年度「子ども予防接種週間」の実施について』

高1の子宮頸がんワクチン、定期での期限は越えましたが(再々掲)

女性の子宮頸がんワクチンの定期接種は高校1年生までです。15歳以上でスタートした場合は、3回接種します。一番短縮する方法でも4か月少しかかり、現高1でこれから1回目という場合、もう全てを公費というのは不可能になっていますが、2回目まで公費、3回目は自費というやり方でもいいので、せっかく子宮頸がんの可能性を低くできる機会を逃さないでください。

HPVワクチンの高1初回接種率について(2024と2025年度データ)



平均は2025年3月最終で55.8%でした。そのときの全国1位は山形県で53.5%でした。2025年度の高1の2025年12月時点での全国平均は52.3%でした。同時点の全国1位はやはり山形県で72.7%でした。大阪府は50.2%で47都道府県中30位でした。

出典: ワクチンJAPAN HP 『HPVワクチン(子宮頸がん)接種率データ by M3総研(2026年1月22日更新)』

麻しん風しん(MR)ワクチン第2期の期限が迫っています

麻しん風しん(MR)ワクチンの第2期は小学校に入る1年前の年度(年長さん)の3月31日(火)までです。対象で未接種の方は急いでください。

インフルエンザAも再流行しつつ、Bも出てきています

期間	定点当たりの報告数 大阪府	定点当たりの報告数 堺市	当科	期間	定点当たりの報告数 大阪府	定点当たりの報告数 堺市	当科
10/6～12	1.88	2.48	3(人)	12/8～14	25.23	19.72	9(人)
10/13～19	2.74	3.48	3	12/15～21	21.90	21.36	6
10/20～26	5.68	7.92	6	12/22～28	16.96	16.56	6
10/27～11/2	13.33	14.08	10	12/29～1/4	6.56	4.00	2
11/3～9	19.74	21.48	30	1/5～1/11	8.09	9.08	5
11/10～16	31.57	32.64	19	1/12～1/18	8.18	7.24	7
11/17～23	38.01	41.48	17	1/19～1/25	11.21	10.88	17
11/24～30	31.45	24.28	12	1/26～2/1	未発表	未発表	15
12/1～7	27.08	23.48	11				

当科で今シーズンのインフルエンザの定点当たりの報告数で、11月17日から23日の週の大阪府38.01、堺市41.48がピークでした。年末年始で一旦終息基準値10を下回りましたが、1月19日の週から再拡大に転じ、A型からB型に入れ替わってきます。堺市教育委員会によると、1月30日正午時点に堺市公立小中学校で学年閉鎖が5校、延べ6学年、学級閉鎖が20校、延べ28組あります。

出典: 大阪府感染症情報センターHP 『ブロック別年齢別発生状況【2025年 第41週 10月6日～10月12日】～【2026年 第4週 1月19日～1月25日】』、堺市教育委員会事務局HP 『集団かぜ等による臨時休業について(令和8年1月30日(正午)現在)』

ムンプスワクチンはまだ手に入りにくいです

武田薬品のムンプスワクチンが2025年8月分の出荷をもって出荷停止になっていましたが、外来性ウイルス等否定試験でムンプスウイルスの中和工程に原因があるとの結論に至り、工程の見直しがなされ、2月前半頃から出荷再開が予定されています。入手安定までまだしばらくかかると思われます。

出典：武田薬品工業株式会社HP 『『乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」』出荷再開予定のお知らせ』

あくまで任意の場合

4月からの料金改定のお知らせ

二種混合(DT)	5,150円→ 5,940円
三種混合(DPT)	5,270円→ 8,580円
A型肝炎(エイムゲン)	8,160円→ 16,390円

左記のワクチンは4月から納入価が値上がりしますので、4月以降に任意接種として希望される場合、表のような料金に改定させていただきます。

帯状疱疹ワクチンの定期、令和7年度対象の方、急いでください

帯状疱疹ワクチン定期接種の令和7年度の対象は年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の方です。不活化ワクチンのシングリックス®は、1回目と2回目の間が2か月以上必要ですので、今からの2回接種は不可能になりました。1回は自費という選択肢もあります。

麻しん風しん(MR)ワクチン不足に伴い、I期・II期・風しん第5期定期接種で迎えたはずの令和7年3月末までの期限は2年延長可能

四種混合ワクチンは製造中止です。代わりに三種混合+ヒブワクチンをするか、五種混合ワクチンをするかです。詳しくは8月号(No. 103)をご覧ください。

当科の診療時間帯

2026年2月の 診療時間帯 (予告なく変更する 場合があります)	9:00～ 9:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
	9:30～ 12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)
17:00～17:30 17:30～18:45	17:00～17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
	17:30～18:45	何らかの症状のある方(事前予約必要)

※予約された方は無断キャンセルしないでください。

他の方の受診機会を奪っています。

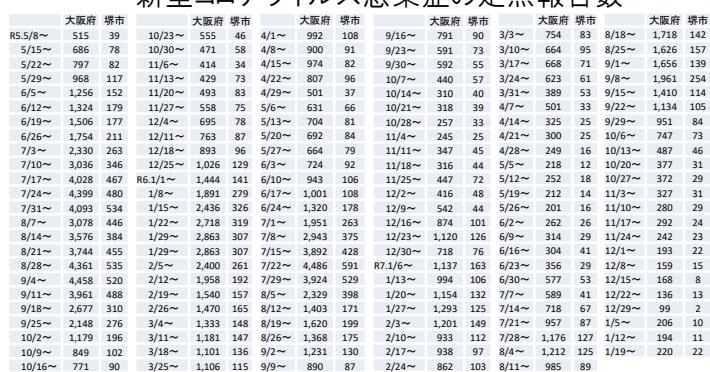
想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など

感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

新型コロナウイルス感染症はほぼ落ち着いています



新型コロナウイルス感染症の定点報告数



新型コロナウイルスの定点報告は1月もほぼ落ち着いており、1月19日からの週は大阪府で0.76、堺市で0.88でした。

出典：大阪府感染症情報センターHP『新型コロナウイルス感染症 発生状況2023年 第19週～2026年 第4週』

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性者数・陽性率(約6か月間)

検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率							
R7.7/28～	9	1	11%	9/8～	15	3	20%	10/27～	16	1	6%	12/15～	3	0	0%
8/4～	21	4	19%	9/15～	15	3	20%	11/3～	9	0	0%	12/22～	12	1	8%
8/11～	5	1	20%	9/22～	10	0	0%	11/10～	5	0	0%	12/29～	0	0	0%
7/21～	12	0	0%	9/29～	10	3	30%	11/17～	5	0	0%	R8.1/5～	4	0	0%
8/18～	9	1	11%	10/6～	15	2	13%	11/24～	6	0	0%	1/12～	2	0	0%
8/25～	9	1	11%	10/13～	6	0	0%	12/1～	8	0	0%	1/19～	2	0	0%
9/1～	12	2	17%	10/20～	11	0	0%	12/8～	4	0	0%	1/26～	6	0	0%

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、みなし陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)÷(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。1月に陽性の方はおられませんでした。

2月・担当医の変更

7日(土) 片桐→赤澤
21日(土) 片桐→赤澤

14日(土) 片桐→赤澤
28日(土) 片桐→赤澤